

グループ「蒼」規約

平成17年4月24日制定

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は現代音楽作曲家グループ「蒼」(英訳名Contemporary Composers Group S0) という。

(事務所)

第2条 本会の事務局を代表所属の箇所に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本会は、楽器編成を特定した上で、個々が自らの芸術性に根ざした作品を追求した新作書き下ろしの演奏会を行うことを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 新作書き下ろし演奏会の開催
2. その他

第3章 会 員

第5条 本会の会員は次のとおりとする。

- 一、会員 本会の目的に賛同して入会した現代音楽作曲家
- 二、その他

(入会)

第6条 会員になろうとする者は、本会員の推薦を得て会議の承認を受けなければならない。

(会費)

第7条 会員は、会費を納める。

(会員の権利)

第8条 本会の会員は、会議において各議決権を有し、役員の選挙権・被選挙権を有する。

(資格の喪失)

第9条 会員は次の事由によってその資格を喪失する。

- 一、退会したとき
- 二、死亡したとき
- 三、本会が解散したとき

(退会)

第10条 会員が退会しようとするときは、その旨を会議に報告しなければならない。

(除名)

第11条 会員が次に該当するときは、会議の承認を経て除名することができる。

- 一、本会の名誉を傷つけ、又はこの会の目的に違反する行為があったとき
- 二、会費を2年間以上滞納したとき

第4章 役 員

(役員)

第12条 本会には、次の役員を置く。

- 一、代表 1名

(役員の選任)

第13条 代表は、会議において選任する。

(役員の職務)

第14条 代表は、本会の業務を総理し、代表する。

(役員の任期)

第15条 本会の役員の任期は、3年とし、再任を妨げない。

2. 代表は、任期満了でも後任者が就任するまでは、その職務を行う。

(役員の解任)

第16条 代表は次の事由に該当するときは、これを解任することができる。

- 一、職務の執行にたえないと認められるとき。
- 二、職務義務に違反し、代表たるにふさわしくない行為があると認められるとき。

(職責)

第17条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。

2. 事務局は、本会の代表が担当する。
3. 事務局は、必要に応じてマネージメントを依頼することができる。
4. マネージメント担当者は会議において任免し、担当者に謝礼金を支払う。

第5章 会 議

(総会の招集)

第18条 通常総会は、新作書き下ろし演奏会終了後に代表が招集する。

2. 臨時総会は、必要と認めたとき、代表が招集する。

(総会の議決事項)

第19条 総会は、次の事項を議決する。

- 一、事業報告及び収支決算に関する事項
- 二、事業計画及び収支予算に関する事項
- 三、その他本会の業務に関する重要事項で会員が必要と認める議案

(総会の定足数等)

第20条 総会は、会員の2分の1以上の出席をもって成立することが望ましいが、当分の間、欠席者は議決内容を委任したものと見なす。

(会員への通知)

第21条 総会議事の議決事項は、会員に通知する。

第6章 資産及び会計

(資産の構成)

第22条 本会の資産は、次のとおりとする。

- 一、財産目録に記載された財産
- 二、会費
- 三、資産から生ずる収入
- 四、事業に伴う収入
- 五、寄付金
- 六、その他の収入

(資産の管理)

第23条 本会の財産は代表が管理し、現金は会議の承認を経て預金口座にして代表が保管する。

(収支決算)

第24条 本会の収支決算書は、代表が作成する。

(会計年度)

第25条 本会の会計年度は、毎回、前回の新作書き下ろし演奏会終了直後、次の新作書き下ろし演奏会準備時点の始まり、その演奏会終了時点の収支決算終了時点に終わる。

第7章 規約の変更及び解散

(定款の変更)

第26条 この規約は、総会の承認を経なければ変更することができない。

(解散)

第27条 本会の解散は、総会の承認を経るものとする。

第8章 補 則

(書類及び帳簿の備付等)

第28条 本会に次の書類及び帳簿を備える。

- 一、規約
- 二、会員名簿

- 三、財産目録
- 四、収入支出に関する帳簿
- 五、総会及び会議に関する書類
- 六、その他

(新作書き下ろし演奏会の開催)

第29条 新作書き下ろし演奏会開催は、次とおりとする。

- 一、前年度までの年会費を納入した全会員に出品資格がある。
- 二、新作発表の演奏形態は、その都度出品者の話し合いにより決定する。
- 三、出品者は、初日の立会練習会に演奏者が充分個人練習してのぞめるよう、期間に余裕をもった作品提出を配慮する。
- 四、新作発表の意思表示と同時に、新作発表に関わる総予算個人負担分の半額を納金する。

(細則)

第30条 この規約の施行についての細則は、総会の承認を経て別に定める。

この規約は平成17年4月24日より施行するものとする。

第9章 細 則

1. 会費・出品料

- (1) 年会費は15,000円を原則とする。
- (2) 新作演奏会出品料は出品者一人75,000円を標準とする。但し記念公演出品料は、この限りでない。

2. 演奏会チケット・チラシ配布数

- (1) 新作演奏会チケットは当面の間1枚3,000円とし、返納金は定めない。配布数は次の通りとする。

- A 出品者：チケット50枚 招待状葉書10枚 チラシ150枚
- B 出品者以外の会員：チケット5枚 チラシ5枚
- C 演奏者：チケット50枚 招待状葉書10枚 チラシ150枚（無償配布）

3. 演奏料

グループ「蒼」招聘の演奏者に対する謝礼金は、練習会へ出席・交通費を含めて一人40,000円を原則とする。但し演奏曲数が4曲を越えた場合は、この限りではない。

4. 演奏会スタッフ日当

ステージ担当者を依頼した場合、その謝金は10,000円を標準とする。

5. 新作演奏準備

個々が自らの芸術性に根ざした作品を追求した新作演奏会を開催するために、演奏者に新曲楽譜を送り、立ち会い練習会を経て本番を迎えるまでの準備日程等は、下記の事柄を留意して行う。

- (1) 一ヶ月前から本番前日までの間に3回程度「作曲者立ち会いによる練習会」を行い、作品演奏力の質の向上をめざす。
- (2) 規約補則第29条の三に関連し、出品者は演奏者が「立ち会い練習会」までに十分な個人練習が行えるように早めに作曲を完了し、新曲を演奏者に渡すように努める。

6. 一作品の所要時間（案）

- (1) 一作品の所要時間は、新作演奏会開演予定時刻から終演予定時刻までの時間から、休憩時間を差し引き、残りの時間を作品数で割り出した期間を一作品の基本的持ち時間とし、演奏者の出入りの時間をこれに含める。
- (2) 一作品の所要時間は、個々が自らの芸術性に根ざした作品であることに鑑み、基本的持ち時間より短い作品であってもよい。
- (3) また同様に一作品の所要時間は、個々が自らの芸術性に根ざした作品であることに鑑み、基本的持ち時間より長い作品であってもよい。
- (4) 但し、基本的持ち時間が大幅に長く演奏会への影響が予想される場合は、事前に協議の対称とする。